

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	11	0402	高村光太郎記念館企画展示事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	高村光太郎の紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<input type="checkbox"/> 高村光太郎に関する企画展開催 <input type="checkbox"/> 展示演出映像作成 <input type="checkbox"/> 環境整備の実施 <input type="checkbox"/> 開館記念式典等の開催						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 企画展示の回数	回	計画			1	
		実績			1	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持っている	%	目標			67.2	
		実績		62.5	66.8	
② 入場者数	人	目標			15,000	
		実績		11,403	16,011	
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民が先人顕彰施設を訪れ顕彰を深め、郷土の先人の功績について理解することにより、郷土に愛着がうまれているかその状況を示すものとして設定した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
高村光太郎の偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供し、市民が地域の歴史や文化に触れることにより、改めて郷土に目を向け故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	11	0402	高村光太郎記念館企画展示事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			3,664		3,664
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		3,664		3,664

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標  
芸術文化の振興に努めます。

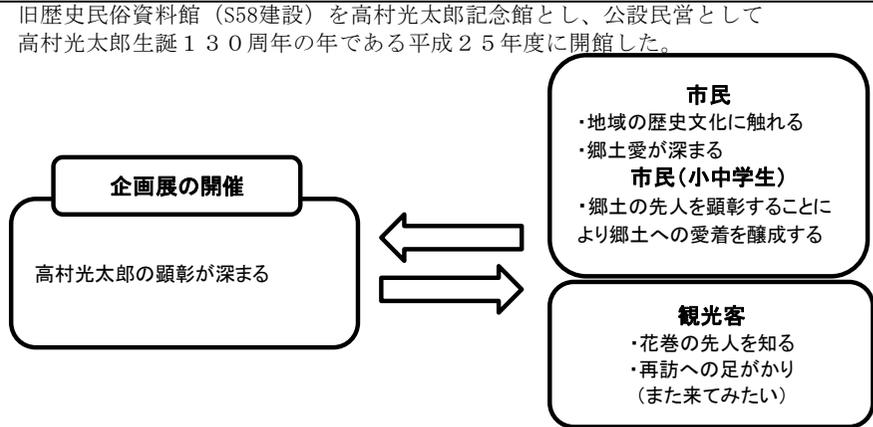
事業開始の背景・経緯  
彫刻家であり詩人でもある高村光太郎は、あらゆる芸術家たちとの交流をもちながら、自らの才能を開花させていった著名な文化人である。その業績を知りたいという要望は県内外から多く寄せられている。企画展示により、より光太郎の偉業多面的に深く知ることができる。

事業概要  
○高村光太郎に関する企画展開催  
○展示演出映像作成  
○環境整備の実施  
○開館記念式典等の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

高村光太郎の顕彰を深め広く紹介できるよう関係機関と連携を図りながら資料収集に努める。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①企画展の開催 1,000千円  
委託料1,000千円(展示監修謝礼、打合旅費、パネル作成費、ポスター等印刷費ほか)  
[内容] 光太郎が花巻へ疎開して70周年にあたり、独居自炊の生活を送った7年の足跡をたどる「高村光太郎 山居七年(案)」を開催  
[委託先] 一般財団法人花巻高村光太郎記念会  
[開催時期] リニューアルオープン時から平成28年3月末まで

②展示演出映像作成 1,744千円  
委託料2,042千円  
[内容] 四季の風景を取り入れた演出をするための映像を作成

③環境整備の実施 488千円  
委託料489千円  
[内容] 記念館、遊歩道周辺の樹木伐採及び枝の剪定

④開館記念式典等の開催 432千円  
報償費100千円、需用費132千円、通信運搬費5千円、委託料195千円、借上料0円  
[内容] リニューアルオープンに伴う記念式典等の開催  
開館記念式典、講演会開催等